

# 2020年度 第1四半期決算

## JT Group CFO 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※用語の定義については、スライド10以降に記載しております。

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

# 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

## たばこ事業

- 製造、流通ともに、安全対策を強化した上でほぼ通常通りの稼働を継続
- 日本を含め各市場平均で約2か月分程度の製品在庫を保有
- 第1四半期時点において需要動向への大きな影響はないものの、今後の動向は要注視
  - 一部の市場において、流通在庫の積み増しが発生
  - 国内外ともに免税販売が減少。なお、当該ビジネスの規模は全社売上収益の3%未満\*

\*2019年度実績における構成比

## 医薬事業

- 研究開発全般・製造機能を含めたサプライチェーン全体で大きな問題はなし
- 販売・需要動向に大きな影響は現時点で発生していない

## 加工食品事業

- 工場は感染防止対策を強化した上での稼働を継続しており、製品供給に大きな問題は生じていない
- 国内の外出自粛要請に伴い
  - 冷食常温事業の家庭用商品は需要増
  - 冷食常温・調味料事業の外食向けの商品及びベーカリー事業は需要減

# 新型コロナウイルス感染拡大の影響について

## グループ全体としての方針・取り組み：

- 従業員及びその家族に加え、取引先等を含めたグループ内外のステークホルダーの安全を最優先
- 事業継続計画（BCP）を着実に実行、状況の変化に応じて柔軟に対処
  - BCPの一環として、不測の事態に備え、CPの発行等を通じた1,000億円以上の手元流動性増強を実施

## 事業への影響／財務影響：

- 現時点、いずれの事業においても顕在化している重大なリスクはない
- 業績への影響
  - 第1四半期においては限定的
  - 但し、免税ビジネスにおける影響は避けられないことに加え、短期・長期的な需要動向への影響は不透明
  - 影響が本格化する4月以降の動向を注視し、事業・財務への影響を精査していく

## 2020年度 第1四半期決算 全社実績

(億円)	2020年 1-3月	前年同期比
<b>財務報告ベース</b>		
売上収益	5,196	+2.8%
調整後営業利益	1,469	+5.8%
営業利益	1,290	▲29.4%
四半期利益	864	▲28.5%

### 為替一定調整後営業利益：前年同期比+14.0%

- たばこ事業（国内+海外）トータル・医薬・加工食品で成長
- 海外たばこ事業では、前年同期と比べ顕著なプライシング効果が現れ、強めの実績

### 調整後営業利益

- 不利な為替影響はあるものの、前年同期比5.8%の増益

### 営業利益・四半期利益

- (-) 2019年度に発生した医薬の一時金収入の剥落
- (+) 調整後営業利益の増加
- (-) 金融損益の悪化
- (+) 税引前利益の減少に伴う法人所得税費用の減少

## 国内たばこ事業：数量・財務実績

数量実績 2020年1-3月	RMC	RRP
総需要	▲2.2%	市場占有率 約24%
(たばこTotal)	前年同期 同水準	
JT販売数量	172億本	9億本
(前年同期比)	▲4.2%	+3億本
SoS*	59.7%	約10%**
(前年同期比)	▲1.2ppt	前年同期 約8%**

\*Share of Segment, カテゴリー内シェアを指す  
\*\* 実需ベース

### 数量パフォーマンス

- 前年同期と比べ定価改定影響の縮小もあり、総需要が底堅く推移
- RMCにおける低価格帯競争により、シェア減少
- RRPカテゴリー内シェアは約10%

### AOP増減要因

- (-) RMC数量減少影響
- (-) RMC単価差の悪化
  - 2019年10月定価改定時の一部銘柄据え置き
- (-) RRPやリトルシガーでの販促費強化

- 新型コロナウイルス感染拡大のボトムライン影響は限定的

### <参考> 足元の動き

- 免税ビジネスでの販売減本格化
- 外出自粛要請・緊急事態宣言以降、国内市場における需要の弱含み傾向
  - 4月以降の動向も勘案し、影響を精査

## 海外たばこ事業：数量・財務実績

数量実績 (億本)	2020年 1-3月	前年同期比
総販売数量	1,041	▲0.6%
GFB販売数量	675	+4.8%

財務実績	2020年 1-3月	前年同期比
自社たばこ製品売上収益	3,120 億円	+8.8%
為替一定ベース	2,969 USDMM	+14.1%
調整後営業利益	1,041 億円	+16.7%
為替一定ベース	1,047 USDMM	+29.4%

### 数量増減要因

- (+) 複数市場でGFBを筆頭にシェア好調
- (+) 主要市場で在庫積み増しあり
  - ・ 特に新型コロナウイルスも影響した欧州で顕著
- (-) 複数市場での総需要減少
- ・ 免税販売の減少はあるものの、海外たばこ事業全体に対する影響は限定的

### AOP増減要因

- (+) ロシア・フィリピン・UK等での力強いプライシング効果
  - ・ ロシア・トルコでの増税タイミング等により、前年同期と比べ当四半期は特に顕著
- (+) 高単価市場である欧州で在庫積み増しもあり数量増、数量効果を牽引
- (-) ネガティブな為替影響

### <参考> 足元の動き

- ・ 免税ビジネスへの影響の本格化
- ・ 特に新興国通貨についてネガティブな為替影響は継続  
→ 4月以降の動向も勘案し、影響を精査

## 医薬事業・加工食品事業：財務実績

### 医薬事業

(億円)	2020年 1-3月	前年同期
売上収益	207	▲21
調整後営業利益	66	+21

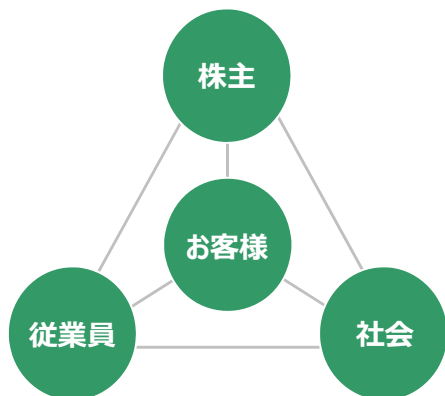
- ・ 売上収益：海外ロイヤリティ収入減少を主因に減収
- ・ 調整後営業利益：研究開発費の減少及び烏居薬品での増収増益により増益
- ・ 「コレクナム®軟膏0.5%」の製造販売承認を1月取得。4月に薬価基準に収載され、6月に販売開始予定

### 加工食品事業

(億円)	2020年 1-3月	前年同期
売上収益	367	+8
調整後営業利益	4	+1

- ・ 冷食常温・調味料事業における外食向けの商品及びベーカリー事業での販売減少があるものの、冷食常温事業における家庭用商品の需要増に伴う販売の伸長により増収増益
  - ・ 4月の緊急事態宣言発令以降、外食向けの商品のさらなる需要減を確認

# Closing remarks



© Copyright JT 2020

## 2020年第1四半期実績

- ・ ネガティブな為替影響がある中でも堅調な実績
  - ・ 前年同期と比べ顕著なプライシング効果が現れ、成長率が非常に高い水準となった海外たばこ事業が利益成長を牽引
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響：当四半期の損益においては限定的

## 2020年通期見込：

**第1四半期での見直しは行わず、新型コロナウイルス感染拡大の影響が本格化する4月以降の動向も勘案し、事業・財務へのインパクトを精査**

- ・ BCPの着実な実行により、事業継続への大きな懸念なし
- ・ 一方、免税ビジネスでの影響は避けられないことに加え、お客様の消費行動の変化等、事業・財務への影響の精査には更なる分析が必要
- ・ 為替
  - ・ 前提レートに対し、足元でRUB等がドル高／現地通貨安に推移
  - ・ 現在の水準が継続すれば為替のネガティブ影響は拡大
- ・ 現時点で還元方針及び2020年配当予想の変更なし

9

## <用語の定義>

調整後営業利益（AOP）：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定調整後営業利益：	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、円対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
四半期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益
Reduced-Risk Products (RRP)：	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/E-Vapor/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、RRPの売上込み
為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益： (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標

© Copyright JT 2020

10

## <用語の定義>

---

たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこ製品の本数ベースの市場規模（自社推計） RRPやリトルシガーを含む
RMC： (国内たばこ事業)	Ready made cigarettesの略
RMC総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの本数ベースの市場規模（自社推計） リトルシガーを含み、RRPを含まない
RMC販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売中国事業の販売分を除く、JT紙巻たばこの販売本数 リトルシガーを含み、RRP等を含まない
RRP販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売分を除く、JTのRRPの販売本数（1パック当たり紙巻たばこ20本として換算） デバイス/関連アクセサリ等は含まない
リトルシガー： (国内たばこ事業)	たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品。 たばこ事業法上「葉巻たばこ」に分類される
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP関連の売上を含む